

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	030501010002	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	高齢者がいきいきと暮せるまちづくり
基本施策	日常生活支援の充実	取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する
部名	健康福祉部	課名	長寿福祉室
事業の開始	平成6年度	終了年度	なし
実施の概要	高年クラブ連合会及び各单位高年クラブの活動に対する補助金助成。		
対象	高年クラブ連合会及び単位高年クラブ		
目的	高齢者の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動及び各種の要援護者支援活動を行い、老後の生活を豊かなものにするるとともに明るい長寿社会づくりを目的とする。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画		
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 老人福祉法 相生市高年クラブ等社会活動促進事業補助金交付要綱 相生市老人福祉基金条例 相生市しあわせ基金条例		

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.29	0.29	0.24	0.12	0.12	0.12
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2
人件費計	1,968,101	2,218,464	1,557,098	1,222,465	1,296,470	1,296,470
事業費計	2,934,299	2,647,669	2,648,824	2,475,571	2,568,000	2,568,000
フルコスト	4,902,400	4,866,133	4,205,922	3,698,036	3,864,470	3,864,470

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,193,000	1,083,000	1,082,000	976,000	1,030,000	1,030,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	824,509	824,000	822,000	818,000	829,000	829,000
フルコストー特定財源	2,884,891	2,959,133	2,301,922	1,904,036	2,005,470	2,005,470
事業費計ー特定財源	916,790	740,669	744,824	681,571	709,000	709,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】助成対象クラブ会員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	800	650	630	600	500	500
単年度実績値	766	628	600	547	489	-
前年比	-	81.98%	95.54%	91.16%	89.39%	-
単年度達成率	95.75%	96.61%	95.23%	91.16%	97.8%	-

(2)コスト指標

指標名1	【質】1人あたりの費用					
単位	円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	6,128	7,486.3585	6,676.0667	6,163.3933	7,728.94	7,728.94
単年度実績値	6,400	7,748.6194	7,009.87	6,760.5777	7,902.8016	

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	高齢者自らが主体的に健康増進と生きがいづくりに取り組むことは、閉じこもり予防となり介護予防効果が期待できる。また、地縁団体である高年クラブの組織化は生活支援体制整備事業につながる地域の支え合いの担い手育成につながる。	なし
有効性	B: 比較的有効である	新しい競技などにも積極的に取り組み、ソーラーポール体操やニュースポーツ大会を行うなど、創意工夫を図りながら介護予防や高齢者同士の交流を深めることに努めた。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	会員の減少を受け、活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	個々の事業の改善に協力し、新しい事業の提案なども行った。次年度は興味を引く、魅力あふれる事業を行うことで新規の加入促進につなげたい。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	小地域内に向けた広報配布や、ポスターを作成して高齢者の方のウォーキングスポットの公園などに掲示するなど誰もが参加しやすい広報を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	会員数が減少傾向にあるので、閉じこもりがちな高齢者、団塊世代の比較的若い層の方々に高年クラブの活動に参加、体験したいと思うような活動内容、広報手段を新たに考え、加入促進を図りたい。
休止・廃止となったときの影響	多数の高齢者の活動の場がなくなり、社会参加の場や回数が減少し、介護予防、重度化防止において悪影響が出る。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	会員数は減少傾向にあるが、地域の活動の場やつながりの場として有効であるため、引き続き加入促進を図り、活動の支援を図りたい。